

持続可能な森林経営をめざして ～ 植樹会場は森林認証SGECの認証森林です ～

上田市、東御市、長和町、青木村にある県営林、市町村有林、財産区有林が連携して上小森林認証協議会を設立し、(一社)緑の循環認証会議(SGEC)の森林認証を平成28年(2016年)4月に取得しました。

森林認証SGECは、国際認証制度PEFCとの相互認証を実施しており、認証森林は「持続可能な森林経営」を行う森林として国際的にも認証されたこととなります。

木材の生産はもとより、森林の公益的機能の高度発揮、地域社会との継続的な繋がりなどに配慮した持続可能な森林経営を進めることにより、地域の林業振興と活性化に努めてまいります。



SGEC/31-21-1076

福島県産ソメイヨシノ『ふくしま』

～ 今回の記念木として上小地区で植栽します ～

福島県の「サクラ」を全国各地で咲かせ、「ふくしま」を身近に感じ、多くの街と「絆」を築き、日本中に笑顔の輪を広げて、福島の子もたちに勇気と元気をあたえる『ふくしまサクラモリ』プロジェクト。

この取組として長野トヨペット株式会社様から寄贈いただいた福島県産ソメイヨシノ『ふくしま』を今回の記念木として、開催地の長和町をはじめ、上小地区の公共施設等で植栽します。

また、植栽箇所での樹名板は、上小地区のSGEC森林認証材を活用しています。



【サテライト会場】 本日午後1時20分から主催者が長和町役場において記念植樹を行います。

- 協賛企業・団体** 長野トヨペット(株)、長野パナソニックファミリー会、マルコメ(株)、イオンリテール(株)、マックスバリュ長野(株)、イオントップバリュ(株)、(一社)長野県自動車整備振興会、(株)テレビ信州、(株)都筑製作所、(一社)長野県猟友会、長野さくらの会 (順不同/敬称略)
- 主催** 長野県、中部森林管理局、長和町、(公財)長野県緑の基金、ふるさとの森づくり県民の集い上小地区実行委員会
- [実行委員会構成] 長野県、中部森林管理局、長和町、上田市、東御市、青木村、(公財)長野県緑の基金、上小林業振興会、上小木材協同組合、上小猟友会、信州上小森林組合



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州

信州デスティネーションキャンペーン 2017.7.1-9.30



7月第4日曜日
今年7月23日
「信州山の月間」
7月15日から8月14日

平成29年(2017年)5月19日
林務部 森林づくり推進課 造林緑化係
(課長)長谷川 健一 (担当)松尾 一穂
電話:026-235-7270(直通)
:026-232-0111(代表)内線3255
FAX:026-234-0330
E-mail: shinrin@pref.nagano.lg.jp

平成29年度ふるさとの森づくり県民の集い (第68回長野県植樹祭)

大会テーマ

この森に 夢と希望が つままっている

長和町立長門小学校 山浦朋奈さんの作品

昨年開催しました第67回全国植樹祭の開催理念である、植えて・育て・利用する「森林・林業のサイクルを、取り戻そう」を具現化するため、本県の代表樹種であるカラマツの人工林で行った帯状伐採地に、新たなサイクルの出発として再びカラマツを皆様に植えていただきます

また、閑静な山岳高原リゾート地である、ここ「姫木平」で信州の自然や山の魅力、さらには上小地区の魅力を感じていただけたら幸いです

平成29年(2017年)6月3日 土曜日
小県郡 長和町 姫木平

本日の日程

タイムスケジュール

式典 10:00~10:50

- ・ 開会のことば
- ・ 主催者あいさつ
- ・ 歓迎あいさつ
- ・ 来賓祝辞、紹介
- ・ 大会テーマ表彰
- ・ みどりのふれあい宣言
- ・ 協賛企業等の紹介
- ・ 記念木の贈呈
- ・ 植樹の案内、作業説明
- ・ キジの放鳥
- ・ 閉会のことば

歓迎アトラクション 9:30~

♪ ながと不動太鼓 ♪

植樹 10:50~12:00

植栽木 カラマツ 約3,300本
植栽面積 1.41ヘクタール

昼食/アトラクション 12:00~

♪ コカリナの会 ♪
➤ アーチェリー実演・体験 ➤ など

森林教室 13:00~15:00

参加申込をされた方は12時50分までに緑の基金(主催)のテント前にお集まりください

展示・販売・体験

- ・ 長和町
- ・ 長野県自動車整備振興会
- ・ 長和町観光協会
- ・ やまぼうし自然学校
- ・ 長野県上田地域振興局
- ・ 手ずくな工房 このこーば
- ・ 中部森林管理局
- ・ 上小林業振興会
- ・ 森林整備・研究機構
- ・ 上小森林認証協議会
- ・ 長野県緑の基金
- ・ 長野県林務部

式典会場配置図

エコバレースキー場



植樹会場

長和町大門財産区所有林

森林・林業のサイクルを取り戻そう (森林県から林業県へ)

植樹会場では、56年生のカラマツ林を帯状に伐採した区域において、次世代に引き継ぐ森林をめざし、再びカラマツを植樹していただきます。

また、植樹木の一部では作業の効率化等をめざして生産しているコンテナ苗(約300本)を植栽します。



コンテナ苗 裸苗



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

植樹が終わりましたら、汁物配布場所で汁物をお受け取りください

